



こんにちは
市会議員

井坂博文

です

発行/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町78/電話432-3261/F A X 441-4968

党市会議員団の他都市調査報告

8月1日～3日まで議員団の他都市調査。

初日午前には**広島市**。市内に4箇所を設置している市民生活サポートセンター事業の聞き取り。暮らし、労働、子育て、税金など市民生活すべての困りごとを社会福祉協議会に委託しつつ、行政の部局が連携して相談にのり、行政の縦割りを排して相談と解決のためのサポートしている。いただいた資料によれば京都市には同様の事業施設は「カ所にしかない。帰ってから調べて聞き取りしてみよう。」



広島市内の移動は路面電車。この電車はかつて京都で走っていた市電が廃止された時に移動してきたもの。正面には京都の地名が書いてあり、懐かしい限りだった。

初日の午後からは**山口県防府市**のクリーンセンターと併設されているバイオガス化施設を視察。このバイオガス化施設は、京都市でも南部グリーンセンター第二工場に併設される予定の施設と同型のものである。

しかも、家庭ゴミの分別が十分でなくても前処理でガス化に適さないものは選別除去できるシステムとして全国で最初に稼働された施設であり、京都市の関係者も注目し視察に来ている。



個人的には今回の調査の目玉であり、担当の職員の方と導入した目的や稼働した際のトラブルや課題についてしっかりと意見交換できたので、次の市会議論で活かしたい。話の中で京都市の「ビン、カン、ペットボトル混合収集」が話題になり、「分別収集に逆光している。住民の分別意識が育たない。やめてほしい」と言われたのが印象的。

2日目の午前は**北九州市**。「いのちをつなぐネットワーク事業」と中学校完全給食を聞き取り調査。数年前に生活保護行政によって餓死事件を起こしたことの教訓から、区役所に専任の係長を配置して各局を横断して、社会福祉協議会などと

連携して生活困窮者にとどまらず高齢者など社会的弱者を支援している。担当者は「人事当局と業務に相応しい職員配置を求めてけんかしている」「事業を支える地域包括支援センターは、地域の状況を行政がきちんと把握するために直営を堅持している」と熱く語っていたのが印象的。

団休も労働者団体からも喜んでもらっている」と確信を深めつつも「県内の自治体に広がっていないから、市の業者が他の自治体で仕事を受注してき」とキツパリ言い切られたのが印象的。

午後からは**福岡市**。自治会・町内会活動を支援する自治協議会制度発足して10年、行政と住民で創る「共創」によるコミュニティ事業を調査。町内会加入の促進、行事への補助金支給など細かく支援するメニューがある。特筆すべきは、すべての小学校区にある公民館。市の直営で館長や職員は地域から出している。町内会事業は無料で使える、まさに「地域センター」の役割をはたしている。



住民自治と行政の関わり方はどこでも悩んでいる。口を出しすぎず、丸投げでもなく、もたれ合いでもなく、共にいい関係を創ることを期待したい。

最終日は**直方市**の公契約条例の聞き取り。平成25年12月議会で全会一致で可決し、26年4月に全国9番目に施行している。

施行後の効果として、学童保育所運営業務委託に従事する労働者の賃金が、施行前の750円が施行後は毎年増額され28年度には852円に引き上げ。また、対象となる建設工事において、元請業者として下請け業者に目が届くようになり、重層下請けができなくなった、という。



さらに、条例と並行して住宅リフォーム助成も条例化して毎年予算を増額。26年度は助成額3000万円、27年度は8000万の工事が出来て10倍の効果になっている、という。担当の部長さんは、「経営者

新大宮商店街夏祭りは大賑わい

毎年7月最後の土曜日は、新大宮商店街夏まつり。今年も児童館OB有志で相談して、定番メニューの唐揚げ、枝豆、生ビール、ソフトドリンクの店で参加。特に唐揚げは行列ができるほどの好評ぶり。

途中で穀田さん、浜田府議、玉本市議とまつり実行委や出店されたみなさんを激励にまわり、交流。



閉店や廃業したりして出店が少なくなっているのが寂しいが、そぞろ歩く人がいっぱい。サンバ隊が練り歩く時間にはまつりムードも最高潮。

6日、世界大会閉会総会ヒロシマデー集会が終わり、大会の全日程が終了した。閉会総会参加者は5500人。やはり圧巻は被爆者の被爆経験と核兵器廃絶の話。86歳になる女性は声を振り絞って訴えられた。また、レゲエシンガーである被爆2世の佐々木滋さんと3世のMetisのソロとコラボのコンサートは素晴らしかった。「知り合ったのは3・11。そこで互いに2世、3世だとわかり、歌で繋がった」と紹介。文化で繋がりを、平和を訴えるのは大事だ。



原水爆禁止世界大会に参加して